



## システム イベント ログ

---

- システム イベント ログ (1 ページ)
- 各サーバのシステム イベント ログの表示 (2 ページ)
- シャーシ内のサーバのシステム イベント ログの表示 (2 ページ)
- SEL ポリシーの設定 (3 ページ)
- システム イベント ログの1つ以上のエントリのコピー (6 ページ)
- システム イベント ログの印刷 (6 ページ)
- システム イベント ログのリフレッシュ (7 ページ)
- システム イベント ログの手動バックアップ (7 ページ)
- システム イベント ログの手動クリア (8 ページ)

## システム イベント ログ

システム イベント ログ (SEL) は、NVRAM 内の CIMC に存在します。SEL は、システム正常性に関するトラブルシューティングのために使用されます。過不足電圧のインスタンス、温度イベント、ファンイベント、BIOS イベントなど、ほとんどのサーバ関連イベントが記録されます。SEL によってサポートされるイベントのタイプには、BIOS イベント、メモリ ユニット イベント、プロセッサ イベント、およびマザーボード イベントが含まれます。

SEL ログは SEL ログ ポリシーに従って CIMC NVRAM に保存されます。SEL ログを定期的にダウンロードしてクリアすることがベストプラクティスです。SEL ファイルのサイズは約 40KB で、ファイルがいっぱいになるとそれ以上イベントを記録できません。新たなイベントを記録できるようにするには、ファイルの中身をクリアする必要があります。

SEL ポリシーを使用して、SEL をリモートサーバにバックアップできます。また、必要に応じて、バックアップ操作後に SEL をクリアすることもできます。バックアップ操作は、特定のアクションに基づいて起動するか、定期的に行われるように設定できます。SEL のバックアップやクリアは、手動で行うこともできます。

バックアップ ファイルは、自動的に生成されます。ファイル名の形式は `sel-SystemName-ChassisID-ServerID-ServerSerialNumber-Timestamp` です。

たとえば、`sel-UCS-A-ch01-serv01-QC112522939-20091121160736` という名前になります。

## 各サーバのシステム イベント ログの表示

### 手順の概要

1. [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
2. [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。
3. システム イベント ログを表示するサーバをクリックします。
4. [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。

### 手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] > [Chassis] > [Chassis Number] > [Servers] の順に展開します。

ステップ 3 システム イベント ログを表示するサーバをクリックします。

ステップ 4 [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。

Cisco UCS Manager サーバのシステム イベント ログを取得し、イベントのリストを表示します。

## シャーシ内のサーバのシステム イベント ログの表示

### 手順の概要

1. [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
2. [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Name] を展開します。
3. [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。
4. [Server] テーブルで、システム イベント ログを表示するサーバを選択します。

### 手順の詳細

ステップ 1 [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

ステップ 2 [Equipment] タブで、[Equipment] > [Chassis] > [Chassis Name] を展開します。

ステップ 3 [Work] ペインの [SEL Logs] タブをクリックします。

Cisco UCS Manager サーバのシステム イベント ログを取得し、イベントのリストを表示します。

ステップ 4 [Server] テーブルで、システム イベント ログを表示するサーバを選択します。

Cisco UCS Manager サーバのシステム イベント ログを取得し、イベントのリストを表示します。

---

## SEL ポリシーの設定

### 手順の概要

1. [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。
2. [Equipment] ノードをクリックします。
3. [Work] ペインの [Policies] タブをクリックします。
4. [SEL Policy] サブタブをクリックします。
5. (任意) [General] 領域で、[Description] フィールドにポリシーの説明を入力します。
6. [Backup Configuration] 領域で、次のフィールドに値を入力します。
7. [Save Changes] をクリックします。

### 手順の詳細

---

**ステップ 1** [Navigation] ペインで [Equipment] をクリックします。

**ステップ 2** [Equipment] ノードをクリックします。

**ステップ 3** [Work] ペインの [Policies] タブをクリックします。

**ステップ 4** [SEL Policy] サブタブをクリックします。

**ステップ 5** (任意) [General] 領域で、[Description] フィールドにポリシーの説明を入力します。

この領域の他のフィールドは読み取り専用です。

**ステップ 6** [Backup Configuration] 領域で、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[Protocol] フィールド	<p>リモートサーバとの通信時に使用するプロトコル。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>FTP</b></li> <li>• <b>TFTP</b></li> <li>• <b>SCP</b></li> <li>• <b>SFTP</b></li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [USB A] : ファブリック インターコネクト A に挿入された USB ドライブ。 このオプションを使用できるのは、特定のシステム設定の場合のみです。</li> <li>• USB B : ファブリック インターコネクト B に挿入された USB ドライブ。 このオプションを使用できるのは、特定のシステム設定の場合のみです。</li> </ul>
[Hostname] フィールド	<p>バックアップ設定が存在する場所のサーバのホスト名または IP アドレス。IPv4 や IPv6 アドレスではなくホスト名を使用する場合、DNS サーバを設定する必要があります。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていない、または DNS 管理がローカルに設定されている場合は、Cisco UCS Manager で DNS サーバを設定します。Cisco UCS ドメインが Cisco UCS Central に登録されていて、DNS 管理が [グローバル (global) ] に設定されている場合は、Cisco UCS Central で DNS サーバを設定します。</p> <p>(注) バックアップファイルの名前は、Cisco UCS によって生成されます。名前は次の形式になります。</p> <pre style="margin-left: 40px;">sel-system-name-chassis-id- servblade-id-blade-serial -timestamp</pre>
[Remote Path] フィールド	<p>必要に応じて、リモートサーバ上のファイルの絶対パスを指定します。</p> <p>SCPを使用する場合、絶対パスは常に必要です。他のプロトコルを使用する場合は、ファイルがデフォルトのダウンロードフォルダにあれば、リモートパスを指定する必要はありません。ファイルサーバの設定方法の詳細については、システム管理者に問い合わせてください。</p>

名前	説明
[Backup Interval] ドロップダウン リスト	<p>自動バックアップ間の待機時間。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Never : 自動 SEL データ バックアップを実行しません。</li> <li>• <b>1 Hour</b></li> <li>• <b>2 Hours</b></li> <li>• <b>4 時間</b></li> <li>• <b>8 Hours</b></li> <li>• <b>[24 Hours]</b></li> <li>• <b>1 Week</b></li> <li>• <b>1 Month</b></li> </ul> <p>(注) システムによって自動バックアップを作成する場合は、[Action] オプション ボックス内の [Timer] チェックボックスがオンになっていることを確認してください。</p>
[Format] フィールド	<p>バックアップ ファイルに使用する形式。次のいずれかになります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>Ascii</b></li> <li>• <b>2 進数</b></li> </ul>
[Clear on Backup] チェックボックス	<p>オンにすると、Cisco UCSは、バックアップが完了した後に、すべてのシステム イベント ログをクリアします。</p>
[User] フィールド	<p>システムがリモートサーバへのログインに使用する必要のあるユーザ名。このフィールドは、プロトコルが TFTP または USB の場合は適用されません。</p>
[Password] フィールド	<p>リモートサーバのユーザ名のパスワード。このフィールドは、プロトコルが TFTP または USB の場合は適用されません。</p>
[Action] チェックボックス	<p>オンにした各ボックスでは、イベントが発生したときに、システムは SEL のバックアップを作成します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• [Log Full] : ログが許容される最大サイズに到達。</li> <li>• [On Change of Association] : サーバとそのサービス プロファイルの間のアソシエーションが変化。</li> <li>• [On Clear] : システム イベント ログがユーザによって手動でクリア。</li> <li>• [Timer] : [Backup Interval] ドロップダウン リストで指定された時間間隔に到達。</li> </ul>

名前	説明
[Reset Configuration] ボタン	バックグラウンドの設定情報をリセットするには、このボタンをクリックします。

ステップ7 [Save Changes] をクリックします。

## システム イベント ログの1つ以上のエントリのコピー

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

### 手順の概要

1. Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベントが表示されたら、マウスを使用して、システム イベント ログからコピーするエントリ（複数可）を強調表示します。
2. **Copy** をクリックして、強調表示されたテキストをクリップボードにコピーします。
3. 強調表示されたテキストをテキスト エディタまたは他のドキュメントに貼り付けます。

### 手順の詳細

ステップ1 Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベントが表示されたら、マウスを使用して、システム イベント ログからコピーするエントリ（複数可）を強調表示します。

ステップ2 **Copy** をクリックして、強調表示されたテキストをクリップボードにコピーします。

ステップ3 強調表示されたテキストをテキスト エディタまたは他のドキュメントに貼り付けます。

## システム イベント ログの印刷

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

### 手順の概要

1. Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、**[Print]** をクリックします。
2. [Print] ダイアログボックスで、次の手順を実行します。

## 手順の詳細

---

**ステップ 1** Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、[Print] をクリックします。

**ステップ 2** [Print] ダイアログボックス で、次の手順を実行します。

- a) (任意) デフォルトプリンタ、あるいはその他の任意のフィールドまたはオプションを修正します。
  - b) [Print] をクリックします。
- 

# システム イベント ログのリフレッシュ

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

## 手順の概要

1. Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、[Refresh] をクリックします。

## 手順の詳細

---

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、[Refresh] をクリックします。

Cisco UCS Manager はサーバのシステム イベント ログを取得し、アップデートされたイベントのリストを表示します。

---

# システム イベント ログの手動バックアップ

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

## 始める前に

システム イベント ログ ポリシーを設定します。手動によるバックアップ操作では、システム イベント ログ ポリシーで設定されたリモート宛先を使用します。

## 手順の概要

1. Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、**[[Backup]]** をクリックします。

## 手順の詳細

---

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、**[[Backup]]** をクリックします。

Cisco UCS Manager は、SEL ポリシーで指定された場所にシステム イベント ログをバックアップします。

---

# システム イベント ログの手動クリア

このタスクでは、サーバまたはシャーシの [SEL Logs] タブで、サーバのシステム イベント ログが表示されていることを前提にしています。

## 手順の概要

1. Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、**[Clear]** をクリックします。

## 手順の詳細

---

Cisco UCS Manager GUI によって [SEL Logs] タブにシステム イベント ログが表示されたら、**[Clear]** をクリックします。

(注) SEL ポリシーの [Action] オプションボックスで **[Clear]** がイネーブルになっていると、この処理によって自動バックアップが実行されます。

---